

学校教育目標	校訓「動勉」「友愛」「健康」心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな児童の育成 考える子・やさしい子・たくましい子
目指す学校像	「一人一人が生き生きと輝き、笑顔あふれる上青木南小学校」

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日は、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	10名
事務局(教職員)	2名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 ( 令 和 7 年 2 月 1 日 現 在 )		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	
組織運営	<p>・ポストコロナを踏まえた教育活動を工夫しながら実践してきている。</p> <p>・更なる工夫改善を重ねながら、組織的に教育活動の改善を図っていく必要がある。</p>	<p>○持続可能な質の高い教育活動を組織的に構築する。</p>	<p>○目指す学校像から「つけたい力」を明確にし、リデュース&amp;クリエイトの視点をもった教育活動の改善を行う。</p> <p>○自己評価面談等を活用し、教職員のよさや強みを認め、質の高い授業実践を広げていく。</p>	<p>○各主任より目指す学校像から「つけたい力」を具体的な児童の姿で提示し、全職員で共有した。プロジェクト部内で役割の分担・補完を進めたことで、教育活動の改善を図ることができた。</p> <p>○自己評価面談、日常的な授業観察や研修等を通じ、教職員の良さや強みを共有し、授業実践につなげることができた。</p> <p>◎教職員自己評価 【学校運営参画意識96% 前年度より4%減】 【自身の取り組みA評価32% 前年度8%増】</p>	B	<p>○次年度は、持続可能であることをベースにおき、本校の実態を踏まえたリデュース&amp;クリエイトの視点をもった教育活動を更に浸透させ、教職員相互の持ち味の共有を推進することを課題とする。</p> <p>□次年度は、スクールソーシャルワーカー、子育て相談課との連携を強化し、更に支援体制を構築していく。また、外国語が堪能な地域の協力者やほっとルームの効果的な活用を進めていくことを課題とする。</p>
		<p>□不登校・不登校傾向児童への個々の状況に応じた支援体制を確立し、不登校数を減少させる。</p>	<p>□児童のアセスメントを行い、児童及び保護者への支援体制を構築していく。</p> <p>□校内組織の活用と関係機関との連携を含めた相談支援体制を強化する。</p>	<p>□生徒指導委員会を中心に対象児童や保護者へのアプローチを検討、推進することで、支援体制を構築することができた。</p> <p>□校内組織を軸に対応を検討し、上青木中、スクールカウンセラーとも連携し相談支援体制を構築することができた。外国籍児童については、家庭訪問をベースに、県立けやき特別支援学校等の専門的な助言を受けながら支援を継続している。</p> <p>◎不登校児童数 【5名 前年度より1名減】</p>	B	
教育課程	<p>・2年間の学力向上の研究委嘱の成果を活かしつつ、GIGA端末の活用を取り入れた授業を継続している。</p> <p>・学習意欲の更なる向上と基礎学力の定着を図る必要がある。</p>	<p>○学校課題の解決のため、創意工夫ある教育課程を展開していく。特に、国語、算数の学力向上のための授業の充実を図る。</p>	<p>○アウトプットを重視し協働的な学びの視点を取り入れた授業改善を継続する。</p> <p>○児童の実態を踏まえた指導の工夫改善を行う。</p> <p>○GIGA端末の更なる効果的な活用を図る。</p>	<p>○市の学力向上の委嘱研究を要とし、各学力調査の分析により、特に中間層の引き上げや協働的な学び、読書環境の充実等を重視した授業改善を実施している。</p> <p>○市教育委員会の指導主事を招聘した研究授業を4回、全職員1人1授業を実施した。GIGA端末の効果的な活用を図りながら、授業改善を行うことができた。</p> <p>◎教職員自己評価 【児童の学習意欲100% 前年度より18.7%増】 【自身の取り組みA評価22.7% 前年度3.9%増】</p>	A	<p>○今年度の研究の成果と課題を明らかにし、有効な手立てについては新たに研究の視点に取り入れながら、児童目線の授業改善により、学力向上を図っていく。</p> <p>□次年度は教職員が相互に授業を参観する機会を増やし、学び合い、高め合う教職員集団をつくっていく。</p>
		<p>□教育計画の確実な実施と質の高い活動への改善を行う。</p>	<p>□教室訪問、授業観察等を通じた指導・助言</p>	<p>□教職員が毎週設定する授業を中心に定期的に教室訪問と授業観察を実施した。自己評価面談等のまとまった時間を活用して指導・助言を行った。</p> <p>◎教職員自己評価【自己研鑽・指導力向上90.9% 前年度より3.4%増】</p>	A	
開かれた学校づくり	<p>・学校の教育活動を公開し、保護者・地域の方に支援をいただきながら学習の充実を図っている。</p> <p>・学校応援団として、保護者や地域の教育力を活かす取り組みを充実させる必要がある。</p>	<p>○学校の教育活動を保護者、地域に積極的に発信し、信頼され、誇れる学校づくりを推進する。</p>	<p>○学校運営協議会を生かした方針等の丁寧な説明と機会を捉えた学校参観を実施する。</p> <p>○学校だより、連絡アプリ(コドモン)等を活用した情報発信を行う。</p>	<p>○学校運営協議会で授業公開や学校の運営状況を画像や数値を用いて説明することができた。関心を寄せていただいた、外国籍児童の状況について学力等様々な視点からその現状を分析し、学力向上の新たな手立てにすることができた。</p> <p>○学校だより、連絡アプリ(コドモン)により、日常的な教育活動の様子や児童の声を継続して情報発信することができた。</p>	A	<p>○学校関係者評価、各行事の保護者アンケート結果を踏まえ、次年度の教育活動を計画、実施していく。</p> <p>□学校応援団を拡充し、保護者や地域の教育力を生かす取り組みや外部講師の積極的な活用により、学習の充実を図っていく。</p>
		<p>□学校応援団の活用等、保護者や地域と連携した教育活動を実践していく。</p>	<p>□保護者や地域への働きかけと学校応援団との連携による教育活動の活性化を図る。</p>	<p>□各学年で保護者の学習補助、学校応援団による外国籍児童への補助、外国語、理科の学習補助等を取り入れ、教育活動の活性化を図ることができた。</p> <p>□全学年に共通したテーマ(SNSの使い方)で懇談会の話し合いを行うことで、学校の課題を共有し、その対応について発信することができた。</p> <p>◎保護者学校評価【わかりやすく伝える A評価56.5% 24.9%増】 【教育活動に満足 A評価42.9% 4.7%増】</p>	A	
教職員の資質向上	<p>・社会の変化や児童の特性に対応できるよう教職員の指導力を高める必要がある。</p> <p>・教職員の働き方改革、及び教育公務員としての自覚と使命感の更なる醸成を図る必要がある。</p>	<p>○ライフステージに応じ、教育技術を身に付け、広げる教師を育成する。</p>	<p>○授業力の向上、学級経営、生徒指導等への視点を示した教室訪問、授業観察等の実施と指導・助言を行う。</p> <p>○2年間の研修成果を活かした新たな研修の充実を図る。</p>	<p>○各学年で研究の視点や手立てを踏まえた取り組み目標を設定し、振り返りを行ったことにより、全職員が研究主題や手立てを意識し、指導力向上に向けての意識を高めることができた。</p>	A	<p>○今年度より新たに、教職員の得意分野を生かしたOJT研修の実施及び全教員が週1回以上の授業公開を行い研鑽を重ねることができた。</p> <p>□次年度も教職員相互の授業参観を継続し、若手・中堅・ベテランの教員の持ち味を共有していきたい。</p>
		<p>□組織的に指導力を高める。</p>	<p>□研修の機会の設定と積極的な授業公開により、学び合い、高め合う教職員集団づくりを行う。</p>	<p>□今年度から新たに全職員による週1時間以上の授業公開を週予定表に位置付け、それぞれの強みを共有し指導・助言を重ねたことで、教職員の能力の伸張を図ることができた。</p> <p>◎教職員自己評価 【自己研鑽・指導力向上 90.9% 前年度より3.4%増】</p>	B	<p>◇リデュース&amp;クリエイトの視点から更なる業務改善の取り組みを進め、毎週水曜日のリフレッシュデーでは18時退勤を確実に実施していきたい。</p>
		<p>◇働き方改革の推進及び教育公務員としての誇りと使命感をもった教職員を育成する。</p>	<p>◇業務改善スタンダードの共通理解と徹底及び、個々のセルフ・マネジメントの推進を図る。</p> <p>◇本校の実態に応じた倫理確立研修を実施する。</p>	<p>◇毎週職員同士で時間外在校時間を確認し、時間マネジメントの意識化を図ることができた。新規の業務改善の取り組みについては着実に実施することができた。</p> <p>◇計画的な倫理確立委員会の実施や教職員による研修の実施により、当事者意識をもった事故防止意識が高く維持されている。</p> <p>◎教職員自己評価 【働き方改革 95.5%】 ◎平均時間外在校時間【月31.53分 前年度より30分増】</p>	B	<p>・毎週水曜日のリフレッシュデーの実施を希望する。</p> <p>・「働き方改革」はとても大事ですが、「帰るのに働く」という姿が見えない先生方はとても素晴らしい。</p>
施設・設備等の管理	<p>・施設面の経年劣化による修繕を更に推進する必要がある。</p> <p>・学校安全、感染症対策で必要な整備を継続していく。</p>	<p>○老朽化による危険箇所を早期発見し、安全対策を徹底していく。</p>	<p>○複数の目で計画的、日常的な安全点検を行い、即時対応の徹底を行う。</p>	<p>○今年度より新たに、PTA役員による安全点検のトリプルチェックを常任理事会に合わせて実施することができた。教職員も危機管理意識や安全意識を更に高め、点検、整備等が推進されたことで、施設事故ゼロを継続している。</p> <p>○日常的に校務員による細やかな修繕を行うことで、大きな修繕を未然に防止することができた。</p>	A	<p>○次年度も管理職・教職員・PTA役員による安全点検のトリプルチェックを継続すると共に、教職員の点検場所をローテーションさせることで、新たな視点をもって修繕箇所や危険箇所を早期発見・即時対応をしていきたい。</p> <p>□安全・事故防止・健康に配慮した効果的な予算執行を継続していく。</p>
		<p>◇学校安全・事故防止・健康維持増進を重視した、計画的・効果的な予算運用を行う。</p>	<p>□管理職や事務職を中心に、年間の見通しを持った計画的な予算執行を行う。</p>	<p>□予算に係る計画から執行まで、学年と事務職・管理職が連携し、確認体制のもと執行することができた。</p> <p>□職員玄関等の自動施錠、4階の転落防止柵、階段のヘリヤ手すりの修繕、ガラスの飛散防止、日本語指導教室へのエアコン移設、教室棟エアコンの特殊清掃等、安全・事故防止・健康に配慮した予算執行を実施することができた。</p>	A	<p>・PTAを活用したトリプルチェックの実施は高く評価できる。今後も安全な学校環境の維持に努めていただけることを期待する。</p> <p>・安心・安全は最優先事項。もし、金銭的な理由等で必要な整備・改善ができないのであれば、評議員に相談してほしい。</p> <p>・危険箇所を早期発見し、日常的に修繕することで子ども達が安心して学校生活を送ることができると思う。今後も安全対策をお願いする。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日 令和7年1月30日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・自己評価面談をはじめとして、教職員に対してきめ細かな聞き取りやフィードバックを行っていると感じた。これらの取り組みが組織運営を強化し、質の高い授業につながっていると評価できる。</p> <p>・引き続き、教職員の良さや強みを共有し、授業実践につなげてほしい。</p> <p>・非常に高いレベルで組織運営が行われていると感じる。教職員の自己評価も高く、意識をもって取り組んでいると思う。</p>	<p>・多様性の問題に取り組まなければならない事に苦勞を感じます。</p> <p>・外国籍児童が増えていることもあり、不登校児童への対応が難しくなっていると思われるが、不登校児童数は学校運営のパフォーマンスの一つでもあり、校外の知見を活かし、支援を継続してほしい。</p> <p>・支援体制の構築、上青木中への進学を考えた上での連携等、とても良い事だと思う。</p>
<p>・中間層の引き上げが功を奏し、学力向上委嘱研究の成果が表れていると感じた。また、GIGA端末が日々の授業に定着しつつあり、学力向上に寄与しているのではないかと感じる。</p> <p>・学力向上の研究委嘱はとても良い機会であり、継続してレベルアップに取り組んでほしい。</p> <p>・授業参観では、子ども達に考えさせ、発言させる授業で感心した。考える力を向上させる取り組みはとても良いと思う。</p>	<p>・外部講師を招くなど、社会とのつながりを積極的に推進している点が評価できる。</p> <p>・高学年の算数授業等、子どもの能力に合わせて進めていくことにとっても好意を持つ。子どもがつまずきやすい教科に取り入れていくとよいと思う。</p> <p>・教職員の自己評価が前年度よりアップしていることは、大変素晴らしい。</p>
<p>・コドモンの活用は、保護者や地域との連携に大きく寄与している。写真付きはとてもありがたい。</p> <p>・教育活動を積極的に地域に発信していると思われる。コドモンを有効に活用しており、更に充実させてほしい。</p> <p>・手紙を出し忘れる子どもがいるので、コドモンの活用は良いと思う。また、学校の様子もわかりやすい。</p>	<p>・町会の支援体制が十分でない部分もあるが、地域としても学校応援団等の広報に努めていきたいと思う。</p> <p>・教職員の人的資源に限られている中、保護者や地域の人々のサポートは極めて重要であり、積極的に活用して欲しい。</p> <p>・学校応援団とPTAの連携が保護者目線で分かりづらい。活動内容を整理して、学校応援団とPTAの活動を周知していきたい。</p>
<p>・個人的には、「教科担任制」の実施に賛成している。先生方の得意分野の研究、研鑽を積んで頂き、より自信をつけて授業や子どもの指導を行っていただきたい。</p> <p>・教職員の意欲・能力により、児童への教育レベルに大きな影響を与えられると思われる。教職員の資質向上は極めて大事であり、持続可能な形で引き続き指導力向上に向けて取り組みを進めてほしい。</p> <p>・次年度も先生方のやる気と活気のある上青木南小学校に期待する。</p>	<p>・教えることは学ぶこと。その中身、量が多いほど、質がきつと高まると思う。</p> <p>・子どもだけではなく、大人も環境により「やる気」は左右されると思う。「指導力の向上」は組織的に高めることで、よい方向に向かっていくと考える。</p> <p>・子どもだけではなく、大人の本離れも顕著になっている中、学校内の至る所に本が手に取れる環境が整えられていることに感心した。この取り組みが子どもや教職員の読書習慣の定着につながるとを期待する。</p>